



ゼロイチ班

# 愛と公共心と若者と



2026年2月

## ゼロイチ班のメンバー紹介



飯塚市  
大里淳子



宮若市  
今宮美左



篠栗町  
田中拓来

全国で働く行政職員のみなさまに少しだけでもヒントを与えられたらうれしいです

社会の意思決定の場から遠ざかる若者たち

想像してください

ChatGPT

「政治家の画像をつくって」



ChatGPT

「自治会の組長会議の画像をつくって」

自治会  
総長会議



ここにいない人たち

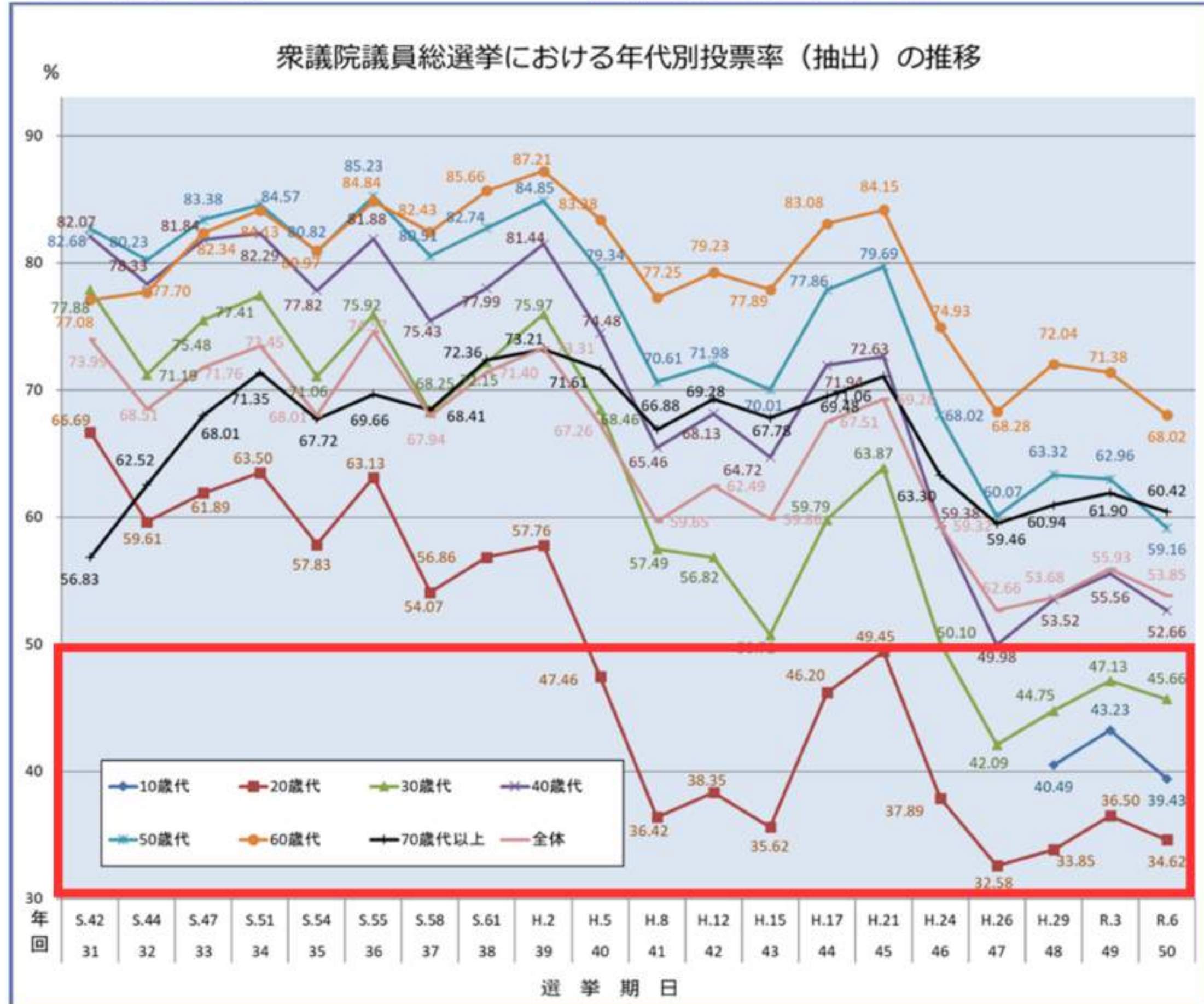


若者

本当にいないのか？

データで見てください

# 国政選挙における年代別投票率

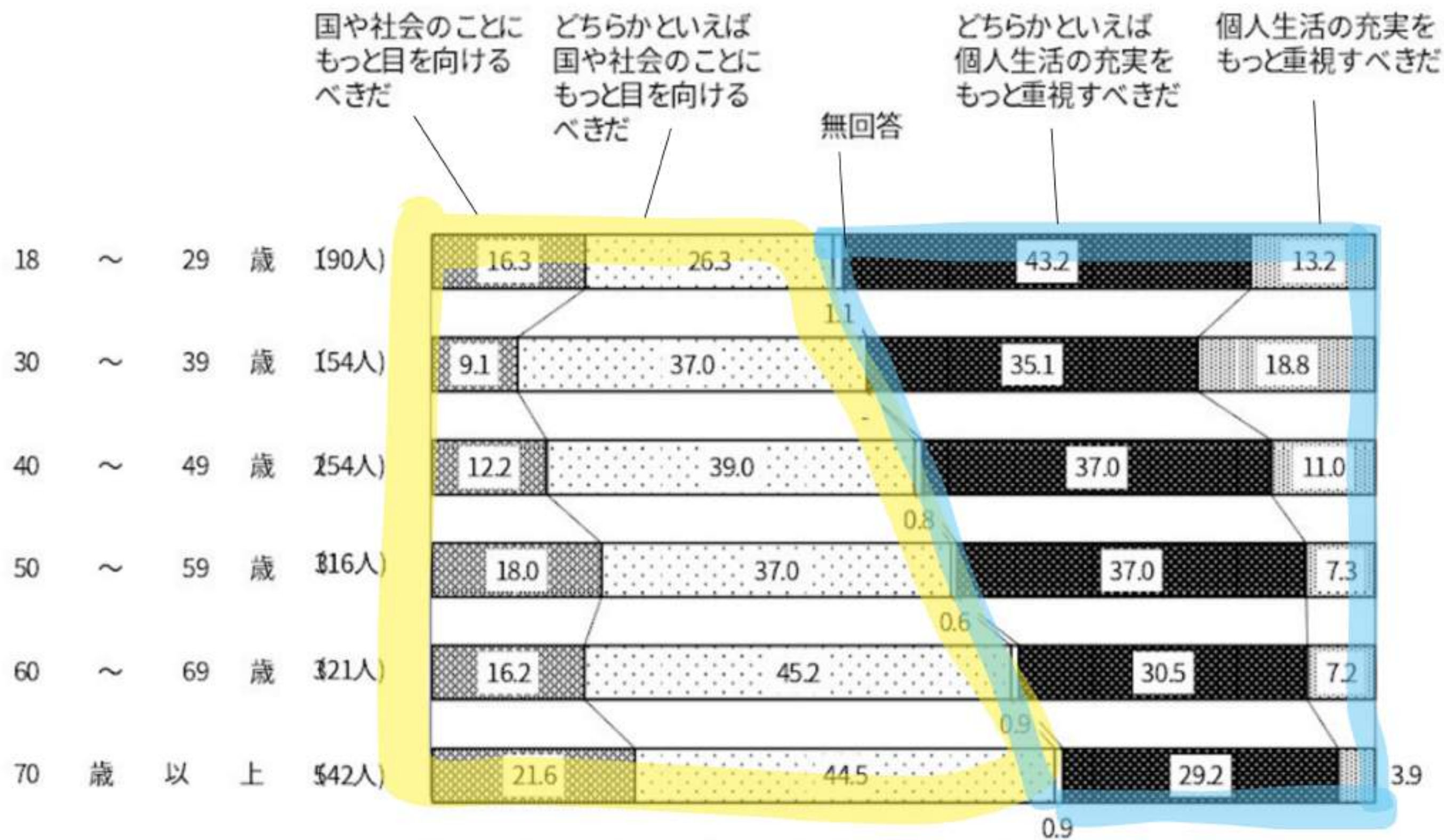


若者の投票率は  
(10歳代~30歳代)

50%以下

総務省「国政選挙における年代別投票率」より  
([https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo\\_s/news/sonota/nendaibetu/](https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu/))

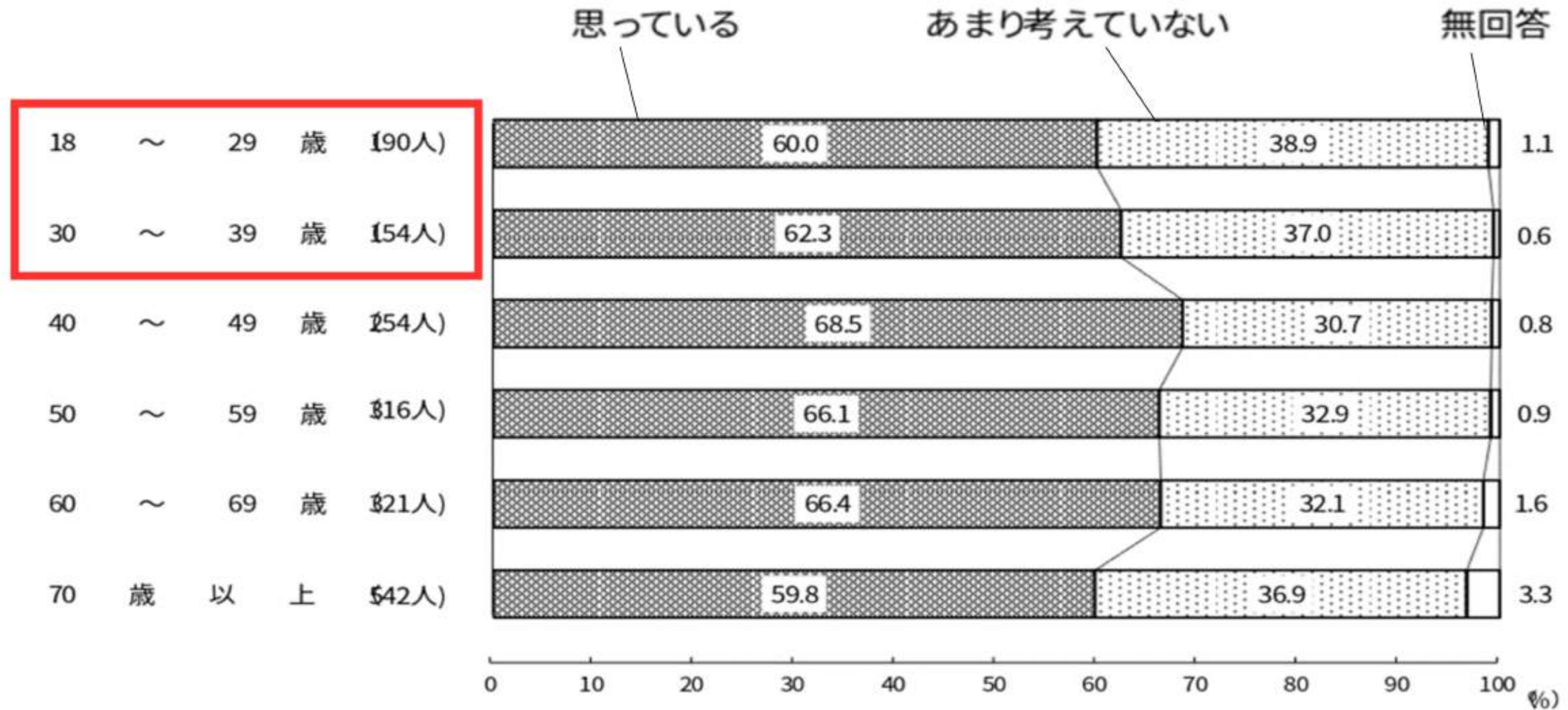
# 社会志向か個人志向か



若者は社会に無関心で個人主義？

本当にそうか？

# 社会のために役立ちたいと思っているか



社会の役に立ちたいのに  
社会から遠ざかっている

なぜ？

ベビーシッター

核家族

物質的に豊かで  
一人で生きていけるため  
助け合う必要がない

Uber

SNS

# 社会参加活動をしない主な理由

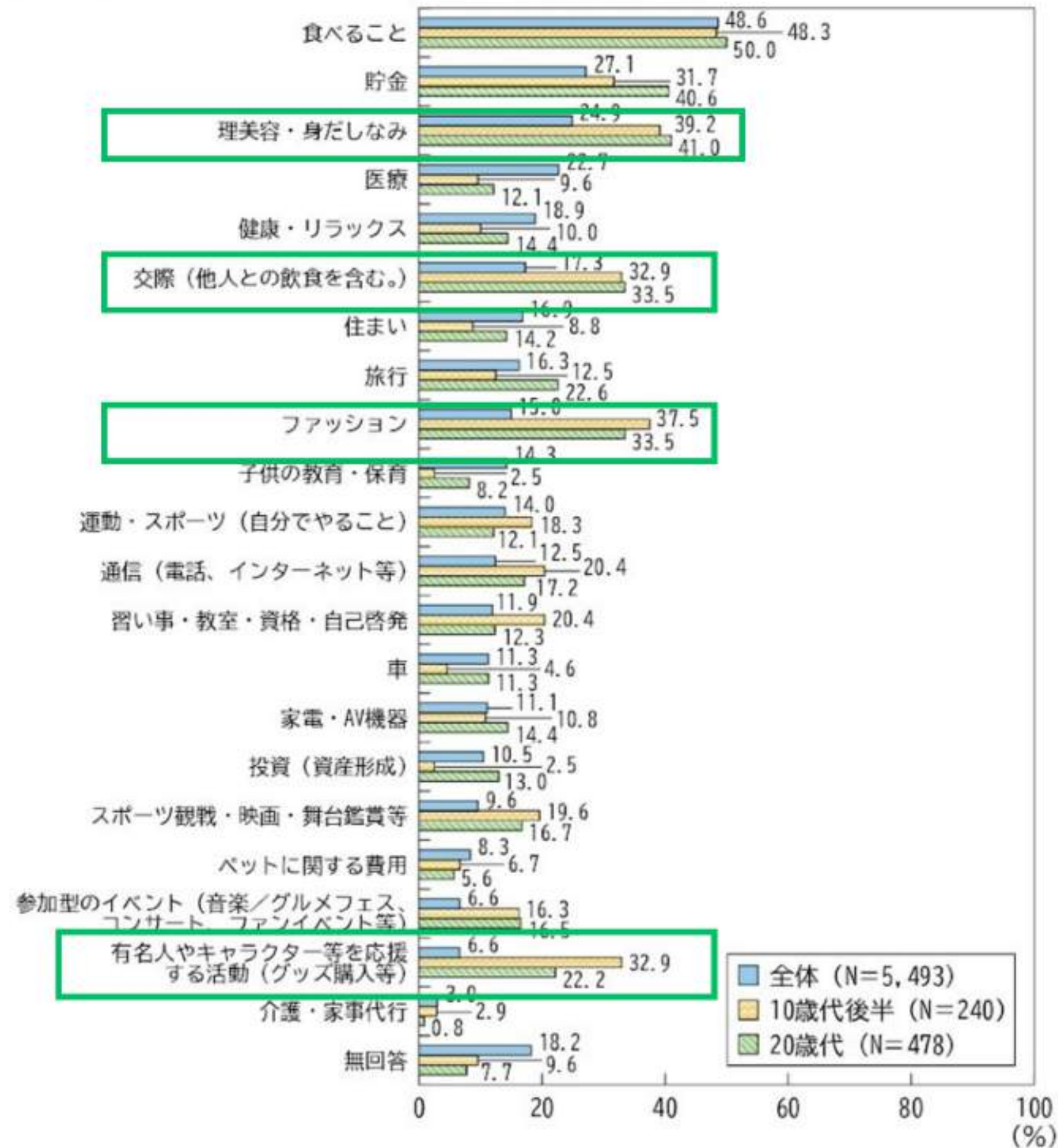
(%)

		社会参加活動をしない主な理由(複数回答)											
		どのような活動が行われているか知らないから	時間的な余裕がないから	家庭の事情(仕事、家事、介護、通院等)があるから	興味・関心がないから	経費や手間がかかりすぎるから	気軽に参加できる活動が少ないから	同好の友人・仲間がないから	近所に活動場所がないから	人と付き合うのがおっくうだから	過去に参加したが期待外れだったから	その他	特に理由はない
全体		26.6	30.5	12.8	33.1	11.3	17.5	11.4	8.7	25.0	2.0	2.6	12.5
年齢	20-29歳	26.9	37.0	6.4	28.3	13.8	6.7	6.8	4.8	20.3	0.2	0.3	19.6
	30-39歳	30.8	37.6	16.8	33.0	15.2	9.9	7.3	5.7	25.1	1.0	1.1	11.7
	40-49歳	25.3	41.3	12.9	35.2	12.5	17.8	9.6	5.4	32.2	2.4	1.8	10.7
	50-59歳	26.1	29.5	15.2	35.5	10.4	15.0	13.8	8.6	25.4	2.1	2.3	9.7
	60-69歳	23.3	21.7	11.5	36.6	8.1	22.5	16.2	11.7	24.7	3.0	3.8	11.7
	70-89歳	26.8	13.7	13.3	30.0	7.1	33.4	15.6	16.3	21.1	3.1	6.3	12.6

資料：厚生労働省「令和4年度少子高齢社会等調査検討事業」

図表 I-2-2-5

現在意識的にお金をかけているもの（年齢層別）



全体と比較して

- ・ 理美容
  - ・ 交際
  - ・ ファッション
  - ・ 推し活
- の割合が高い

（備考） 1. 消費者庁「消費者意識基本調査」（2021年度）により作成。

自分の生活を充実させるものには  
熱意と時間、お金をかける

地域の子は  
みんなで育てる

大家族

かつては  
助け合いの社会

井戸端会議

回覧板

助け合いのなかから生まれた  
社会のために尽くそうとする心

公共心





「公共心」

とは

「自己犠牲」



「公共心」



「自己犠牲」



若者の価値観に馴染まない



公共心の根底には「愛」がある

ここでみなさんに質問です

あなたはだれを  
思い浮かべますか？

家族？



世界？



友達？



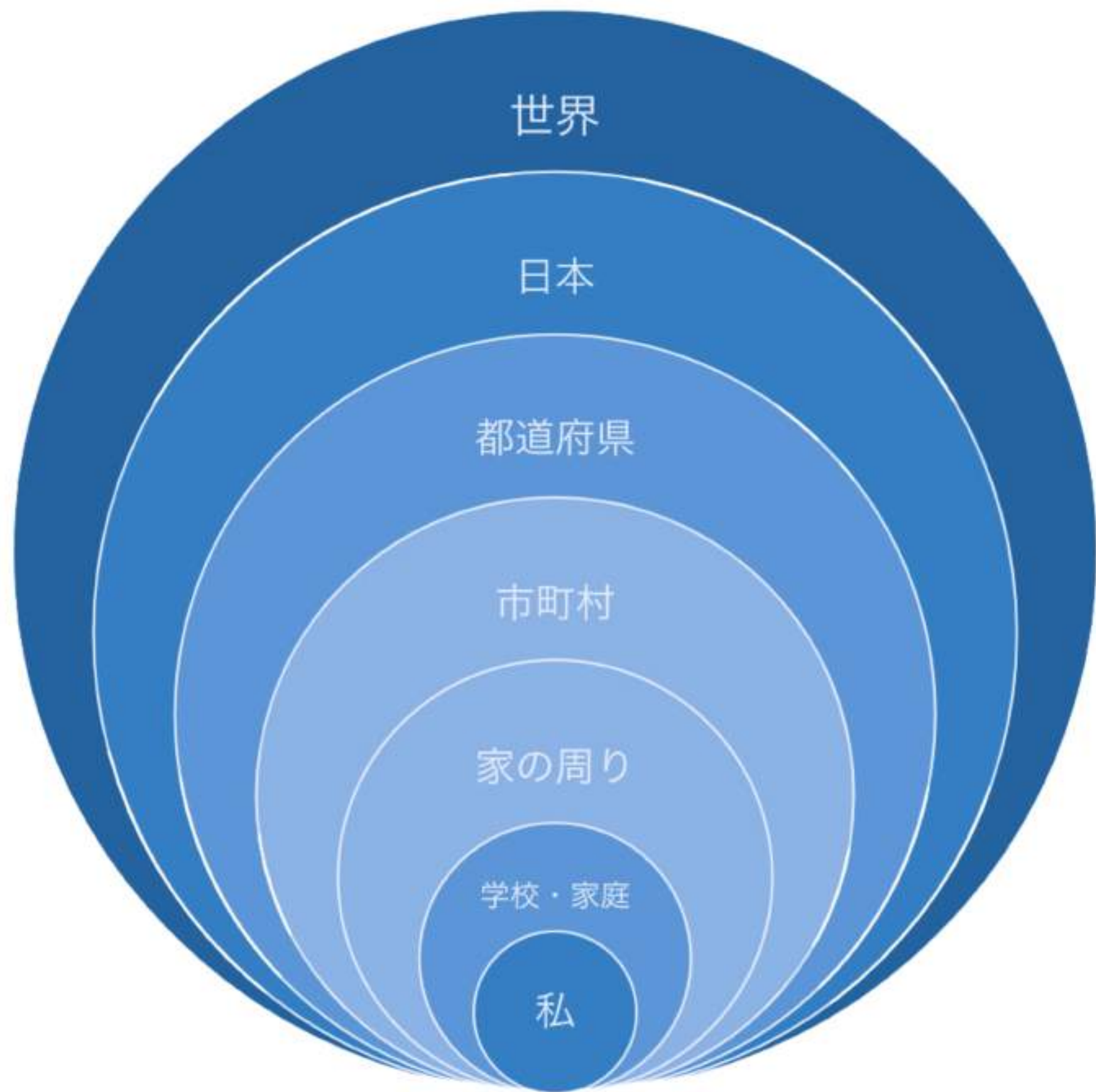
私？



日本？

みんな想いやる相手は違います

公共心とは  
私のため  
に生きる  
ことから  
始まる



尼崎市ユースカウンシル事業資料より引用

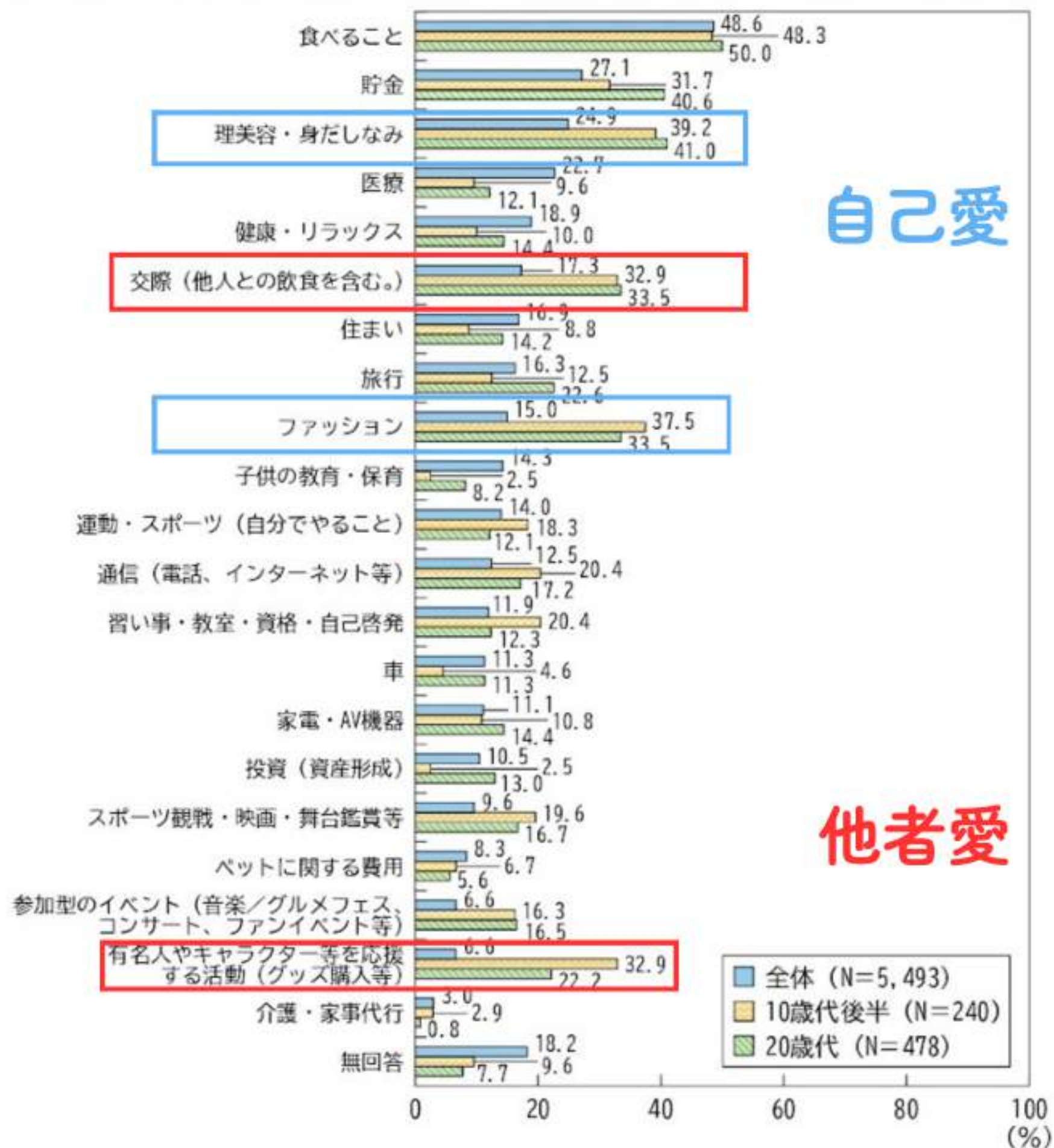
自分を大切にしながら  
相手の幸せも願う

公共心  $\neq$  自己犠牲

公共心  $=$  自己愛と他者愛

図表 I-2-2-5

現在意識的にお金をかけているもの（年齢層別）



若者の関心にも  
自己愛と他者愛に  
がある

（備考） 1. 消費者庁「消費者意識基本調査」（2021年度）により作成。

公共心と若者の関心はマッチするかも



若者の  
公共心を広げる  
後押し

# 行政に求められる役割

場づくりと機会づくり

経験づくり

公共を考えるきっかけづくり

行政職員の意識づくり

場づくりと機会づくり

知らない「誰か」よりも顔見知りの「あの人」

「顔が見える関係」になれる場所や機会の提供

# 京都市ユースサービス協会



場づくり

可能性を持つユース

ささえる



つなげる

京都の人・地域・社会との出会いを通して

つたえる  
ふかめる

新たな「ジブン」を発見

安心して失敗できる  
言ったことが反映される場

知らない「誰か」を顔見知りの「あの人」に

経験づくり

地域交流

ホームステイ



サークル  
クラブ活動

職業体験

自分の好きなことが誰かの役に立っている

公共を考えるきっかけづくり

年齢に重み付けする投票



18歳



50歳



85歳



# 行政職員の意識づくり

行政で働いている中で  
こんなこと言われたことないですか？

「それってあなたの感情でしょ？」

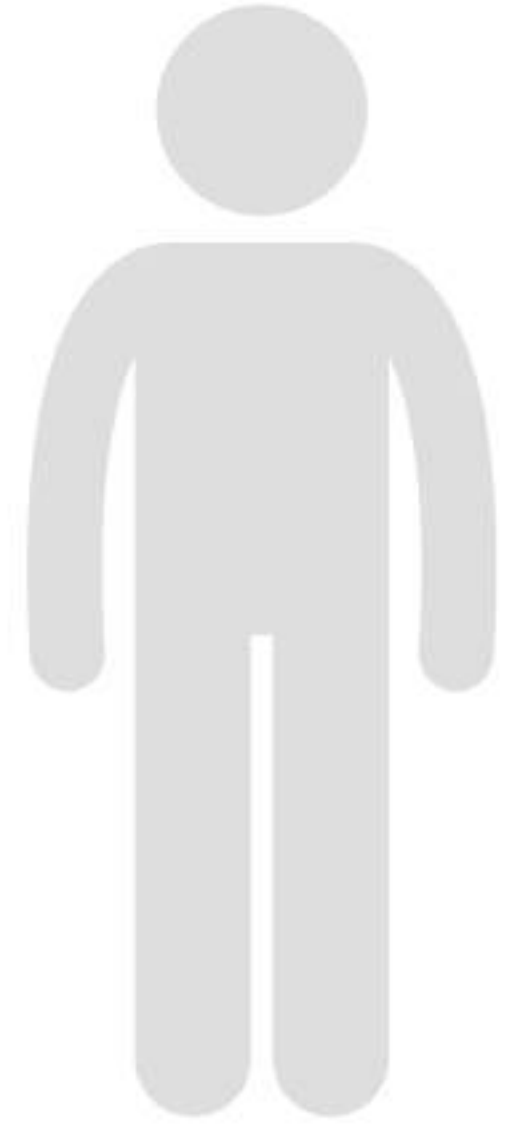
個人の感情をだしたらだめ？



カント



殺人鬼 「あいつを知らないか？」





「私の家に隠れているよ」



嘘をついてはいけない

論理的な正しさだけの世の中になれば

社会は崩壊する

ウェルビーイング

「みんなできせになろうよ」

ウェルビーイングという

感情の物差し

論理的な正しさだけを追求してませんか？

ワクワクから始まる  
行政があってもいい

4つの「づくり」による効果

若者の幸福度向上とポジティブな連鎖

若者の参加促進と地域課題解決力向上

自分が熱中できることをとことんやる

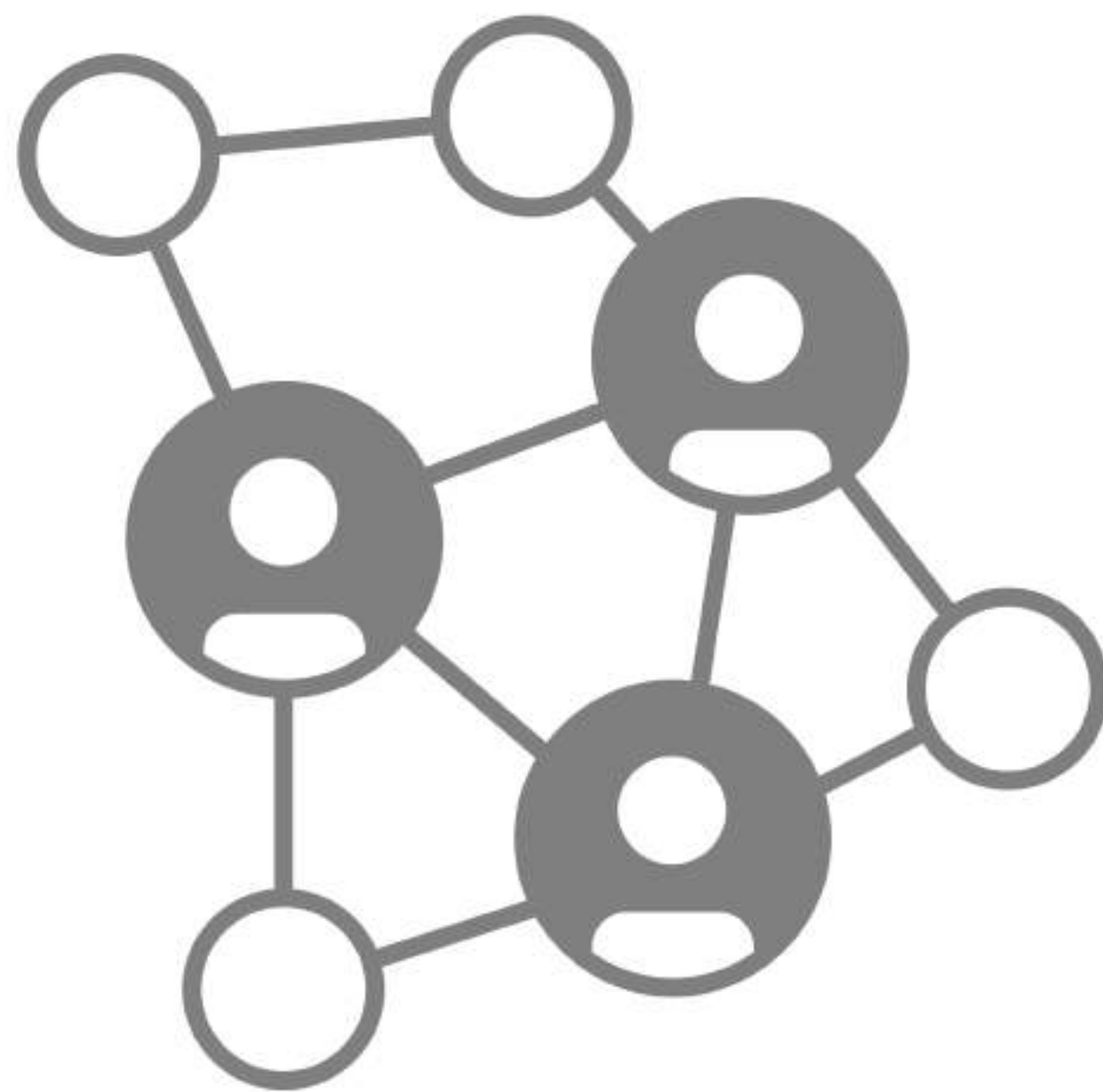
結果としてそれが他人の役に立つ

新たな想いやりが生まれる

顔も知らない人が「あの人」になる

「あの人」の  
喜ぶ顔

喜ばせたい  
「あの人」  
の広がり





空海

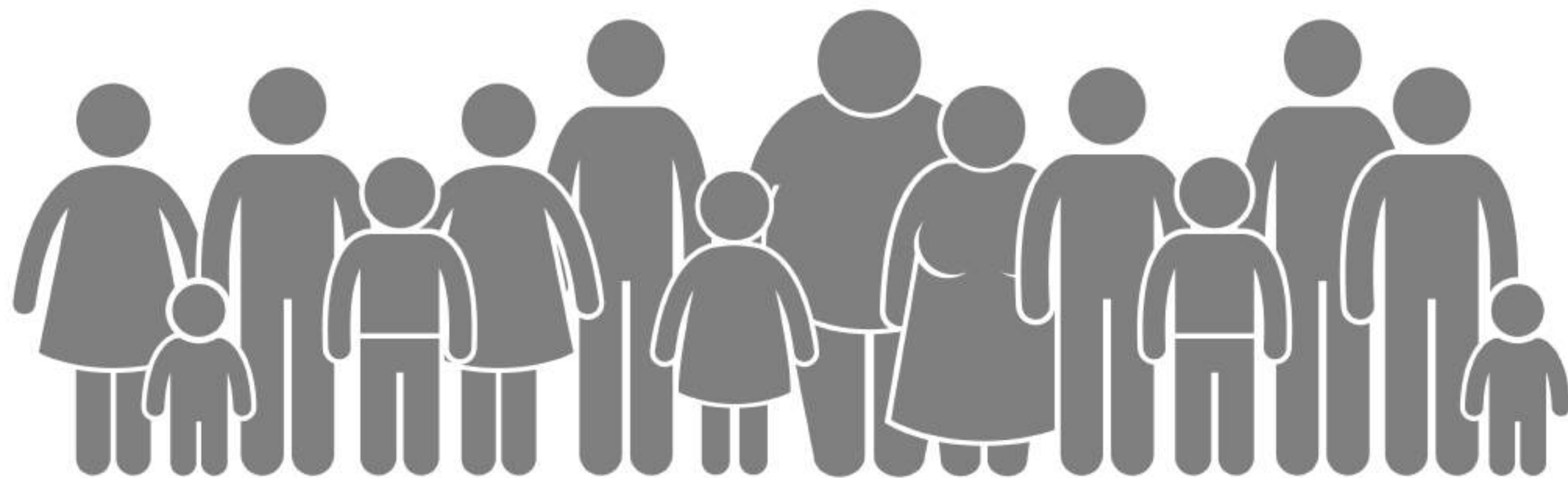
自利利他

(自らの利益→他人の利益)

つまり

自分が熱中できることをやる (自利)

結果としてそれが他人の役に立つ (利他)



そこには誰の犠牲もない

若者の公共心から

社会のウェルビーイングを広げる

おわり